

写真家の父ちゃんが、2歳の息子にあてた
旅先からの手紙

父ちゃんから
の手紙 ⑨

Letter from
Dad

林太郎へ

今日、父ちゃんは北海道紋別郡もんべつぐんに來ています。外はすっかり寒いのですが、これからもっと寒くなり、もうすぐ辺り一面氷の世界になるそうです。でも父ちゃんは今、シャツ一枚です。しずえばあちゃんのまきストーブの前で写真を撮っているからです。しずえばあちゃんは、もう今

年の農作業はおしまいですから、昼から仲間と集まって一日おしゃべりをしています。

ストーブの上のばたばた焼きからいいにおいが漂ってきます。豆とでんぷんを合わせて、平たく焼いただけの簡単なおやつも、楽しい会話と合わされば最高のごちそうに感じられます。春はまだ遠いようですが、しずえばあちゃんの周りだけは、なんだか暖かく居心地がいいです。



しずえばあちゃんは向かって左の人です。

公文健太郎 (くもん けんたろう)

写真家。1981年生まれ。国内だけでなく、ネパールなど海外の被写体をテーマに作品を撮り続け、写真集やエッセイ、写真展などで発表している。2児の父。 <http://www.k-kumon.net/>